



# 東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

法教育の体系的構想に関する予備的考察：  
我が国の従来<sup>の</sup>議論の振り返りと近時の議論からの  
示唆

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-07-05 キーワード (Ja): キーワード (En): Law-related education, Don Rowe, Systematicity 作成者: 宿谷, 晃弘 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/00173395">http://hdl.handle.net/2309/00173395</a>

# 法教育の体系的構想に関する予備的考察：我が国の従来の議論の振り返りと近時の議論からの示唆

宿 谷 晃 弘\*

日本において法教育は普及していないとも、ブームは去ったとも言われる。しかし、現代社会における法の重要性を考えるならば、法教育はそれほど簡単に置き去りにされてよいものではない。本稿は、法教育を教育学や教育実践の中にしっかりと位置づけるために、体系的な法教育論の構築を目指す。本稿は、このような目的を達成するために、我が国における従来議論の諸要素を抽出し、それらを体系的に整理・分析する。その結果、本稿は、法教育のモデルとして、①自由主義的モデル、②

民主主義的モデル、③新自由主義的モデル、④新自由主義的権威主義的モデル、⑤多元主義的モデルの5つのモデルを得ることができた。

---

## Key words

法教育、ドン・ロウ、体系性

---

\*東京学芸大学